

株式会社 山元ヒルズファーム (山元町)



ハウス内の様子



手前の茶色いパイプに温水を流して温度調節をしています！



施設で栽培している「ヒルズいちご」

株式会社 山元ヒルズファームでは、イチゴの栽培に、地中熱によるクラウン温度制御システムを導入しています。

地中熱を取り入れるための井戸は3本あり、約50mの深さから地下水を汲み上げています。立地している場所が扇状地で地下水が豊富なため、地中熱用の井戸としては浅いものです。

汲み上げた地下水は、ヒートポンプシステムで温度を調節して、いちごの栽培棚に設置したチューブを通すことで、いちごの株の根元にある「クラウン」と呼ばれる部分を加温・冷却し、成長を促進しています。

令和3年度のいちごの収量は10aあたり5tとなりました。令和4年度は7tの収穫を目指して準備中です！

ヒートポンプシステムとは・・・

少ない投入エネルギーで、空気中などから熱をかき集めて、大きな熱エネルギーとして利用する技術のこと。身の回りにあるエアコンや冷蔵庫、エコキュートなどにも利用されている省エネ技術です。ヒートポンプを利用すると、使ったエネルギー以上の熱エネルギーを得ることができるため、大切なエネルギーを有効に使えます。



導入したヒートポンプシステム

Keyman's VOICE

株式会社 山元ヒルズファーム
代表取締役 小林 幸男 さん、取締役 森川 幸子 さん

私はもともと岩手県で建築資材に関する事業を行っていましたが、体調を崩してしまい、休職中にミガキイチゴに関する書籍を読んだことをきっかけに、農業への参入を決意しました。

株式会社 GRA の新規就農支援事業に参加し、いちごの栽培や経営等について学んだあと、卒業した後に、公益財団法人みやぎ産業振興機構が実施している「次世代トップリーダー養成講座」を受講しました。

農業経験が全くない異業種からの参入でしたが、だからこそ「加温システム」に着目でき、このシステムの導入につながりました。

今後は、さらなる収量アップにより魅力ある農業を、そして一年中果実が実り、訪れた人の笑顔があふれる「ヒルズランド」の完成を目指します！



所在地	亶理郡山元町浅生原字東田 72-1
エネ種	地中熱ヒートポンプ
活用した補助事業	令和3年度二酸化炭素排出削減事業費補助金(宮城県)
運営主体	株式会社 山元ヒルズファーム
連絡先	TEL: 090-2880-8100
見学の可否	可

農業用水利施設を活用した小水力等発電所



県では、農業用水利施設に小水力発電等の再生可能エネルギー施設を導入することにより、①農業用水利施設の維持管理費の低減②農山漁村の地域活性化③脱炭素社会の地域づくりの実現を目指しています。

稼働中の県内小水力発電施設	荒砥沢発電所	三丁目幹線用水路小水力発電所	内川小水力発電所	朴沢小水力発電所
発電所名	荒砥沢発電所	三丁目幹線用水路小水力発電所	内川小水力発電所	朴沢小水力発電所
所在地	栗原市栗駒文字荒砥沢	大崎市古川小林	大崎市古川清水	仙台市泉区朴沢字壱野々
運営主体	迫川上流土地改良区	江合川沿岸土地改良区	大崎土地改良区	仙台市
規模	1,000kW	5.3kW	5.5kW	7.0kW
運転開始	平成11年4月	平成25年12月	平成27年4月	平成30年11月